

令和8年度 第1回 大阪府環境放射線評価会議

京都大学複合原子力科学研究所

令和7年度 放射線管理等概要

①KUR排気口・排水口における放射性物質濃度^{注3)} (Bq/cm³)

採取場所	項目		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
排気口	³ H	平均	LTD	LTD	LTD	LTD
		最大	LTD	LTD	LTD	LTD
	⁴¹ Ar	最大	LTD	5.2×10^{-3}	9.2×10^{-3}	3.1×10^{-3}
	その他 ^{注1)}	最大	LTD	LTD	LTD	LTD
排水口	³ H	平均	LTD	3.5×10^{-1}	LTD	3.4×10^{-1}
		最大	3.0×10^{-1}	3.5×10^{-1}	LTD	3.4×10^{-1}
	その他 ^{注2)}	最大	LTD	LTD	LTD	LTD

注1) Mn-54, Co-60, Cs-137, I-131, I-133

注2) Cr-51, Mn-54, Fe-59, Co-58, Co-60, I-131, Cs-134, Cs-137

注3) 検出限界値

³H(排気口): 4.0×10^{-5} Bq/cm³

⁴¹Ar(排気口): 2.0×10^{-3} Bq/cm³

³H(排水口): 2.0×10^{-1} Bq/cm³

その他:「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」(原子力委 昭和53年、原子力安全委 平成元年)に準拠

②KUR排気口・排水口における全α・全βγ放射能濃度

・排気口:すべて検出限界値未満

・排水口:すべて検出限界値未満

注4) 検出限界値

全α(排気口): 4.0×10^{-10} Bq/cm³(4～6月以外), 7.7×10^{-10} Bq/cm³(4～6月)

全βγ(排気口): 4.0×10^{-9} Bq/cm³

全α(排水口): 1.8×10^{-4} Bq/cm³

全βγ(排水口): 3.2×10^{-3} Bq/cm³